



光風緑 Hannan

2018年
第4号

日本医療機能評価機構認定病院

〒599-8263 大阪府堺市中区八田南之町277番地 ☎(072)278-0381 FAX(072)277-2261 URL http://www.hannan.or.jp

理念 愛のこころで医療に奉仕を 和のこころで総力一致を 励むこころで創意工夫を



7/3 こころの日 イベント開催

7月3日(火)鳳のおおとりウイングスにてスペースをお借りし、こころの日のイベントを開催いたしました。こころの日は「精神保健法」の施行日を記念し、1998年より日本精神科看護協会が毎年7月1日を「こころの日」と位置づけたことに由来します。当院では、毎年7月初旬の時期に、多職種参加で、こころの日のイベントを実施しています。昨年よりおおとりウイングス内のスペースをお借りし、こころの健康の大切さや認知症などの啓発及び病院のアピールとして医療相談を行いました。当日は医師、看護師、臨床心理士、管理栄養士、精神保険福祉士の多職種で参加しました。

尚、当日朝は店内のイベント(金券を購入すると卵が無料で貰える)があり10時の開店前より100名程の方が並んでおり盛況な様子。金券の配布が終了すると幾人かの方が相談にお越しになりました。ブースへ来られた61件の方では、血圧測定や希望が多かったのですが、その他「物忘れからの認知症の心配」「うつ病の相談」「ストレスチェック」「糖尿病の食事の相談」等々、内容は多岐に渡るもの、多くの方に興味を持っていただきました。中には日々の生活の寂しさや苦しさを切実に話すうちに、気が紛れたのか笑顔で世間話を楽しむ方もおられました。ウイングスの利用者は高齢者が多い印象で、相談者も高齢の方が殆どでした。こころの日(7月1日)の認知度はまだまだといったところですが、阪南病院として地域に愛され、頼りにされる病院となるために毎年恒例のイベントとしていきたいと考えます。有意義な日でした。(看護部PR会議)

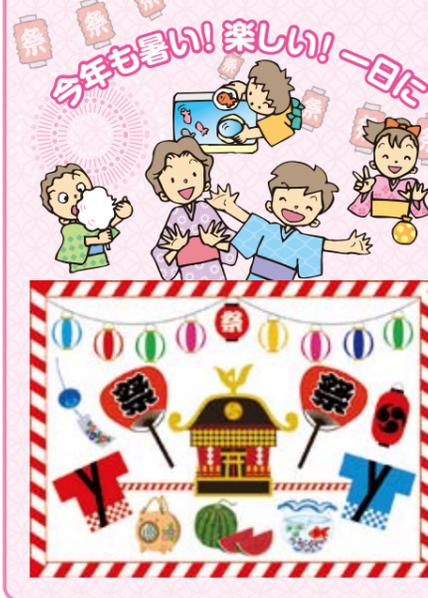
- 基本方針**
- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
 - 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
 - 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
 - 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
 - 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

はんなん夏祭り!

日時 8月24日(金)

内容 ◆正午~模擬店
◆夕刻~盆踊り、花火



アブリコット堺 講演会 子どものすいみん

日時 8月30日(木)
14時~16時
(開場13時30分)

講師 やまとメンタルクリニック院長
和田 大和 先生

会場 西文化会館ウエスティーフ
セミナールーム

申込み 病院ホームページより申
込書を印刷の上、FAXか
メールで申込み



堺市発達障害者支援センター アブリコット堺 講演会

子どものすいみん

睡眠は子どもの心や身体の成長にとってとても大切です。しかし、近年、子どもの睡眠障害は著しく増加し、子どもの睡眠に関する情報は増加傾向にあります。また、発達障害のある人はコミュニケーションの手がかりが乏しいなどの特徴だけでなく、二次障害として、睡眠の問題を抱えやすいとされています。今回の講演では、精神科・児童精神科領域で睡眠の診療に携わっておられる和田先生に「子どもの睡眠」について講演いただきます。

やまとメンタルクリニック
講師 和田 大和 院長

(所属学会) 日本睡眠学会 (資格) 精神保健指定医
・日本精神神経学会 精神科専門医
・日本睡眠学会認定 精神科専門医
・日本睡眠学会認定 精神科専門医

日時: 平成30年8月30日(木)
14:00~16:00(開場: 13:30)

会場: 堺市立西文化会館ウエスティーフ階 セミナールーム
〒599-8263 堺市東区八田南之町277番地
JR南海線「西区役所前」下車すぐ
※駐車場は200名定数あり(所要車を確保してください)
76名、無料の駐車場200名、以降30名毎に100名

費用: 無料
※服装・関心のある方はご参加していただけます。

お申込み 参加者の氏名、連絡先電話がFAXを印刷し、メールがFAXでお申込みください
お申込み方法 メール: apricot-event@hannan.or.jp FAX: 072-275-8507(事前に返信フォーム印刷)
※受付になった方に改めてお電話は致しません。定員に達し、ご参加いただけない場合のみ、ご連絡致します。

主催 堺市発達障害者支援センター アブリコット堺

外来診療表

外来診療時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)平成30年7月現在

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1 診	黒田	土井	濱田	横田	黒田	横田
2 診	花房	横井	松島	戎	横井	
3 診	松島	亀田	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	田中	新井	岩井	京田	萩野	岩朝
5 診	佐野	山田	川村	加納	広田	松村
6 診	柴田	長谷川		吉川	小林	
7 診	山本		小深田	久保	久馬	小深田
8 診	熊取谷	橋本	西村	河野		熊取谷
9 診	上坂	柏木		大浦	土井	安藤
診(心1)			中井			

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



診療科目
精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/
小児科/放射線科/神経内科

病床数
●EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
●児童精神科病棟 30床(D1病棟)
●垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
●精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
●メンタルケア(精神科急性期治療)病棟 35床(E3病棟)
●老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
●MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
●精神療養病棟 60床(F3病棟)
●認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

- 関連施設ご紹介
- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
 - 訪問看護ステーションふれあい「サテライト」[浜寺石津] ☎072-279-1631
 - グループホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
 - 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F
☎072-277-9555
 - 堺市発達障害者支援センター アブリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
 - 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
 - 就労移行支援事業所 エンワーク
堺市中区深井清水町3544-3
アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
 - 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

編集・発行 医療法人杏和会 阪南病院 地域医療連携室&総務課広報「光・風・緑」チーム

さくメンタルクリニック

- 住所 〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東2-4-25
ホームスタジオビル5F
- 電話 06-6691-3399
- HP <http://saku-mental.com/>
- 最寄駅 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車 ②出入口から徒歩約3分
JR阪和線「我孫子町」駅下車 南出口徒歩約10分
- 診療科 心療内科・精神科・児童精神科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	—	—	—
午後 14:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—	—

(電話による予約制)

Dr.情報 院長 作田 泰章 先生

- ☆経歴: 三重大学医学部卒業
宝塚市立病院 初期研修医
2008年 阪南病院精神科、児童精神科にて後期研修
堺市立北こどもリハビリテーション内もず診療所非常勤
2016年 さくメンタルクリニック
2017年 さくメンタルクリニック開院
- ☆資格: 精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医
日本児童青年精神医学会認定医、子どものこころ認定医、産業医



『さくメンタルクリニック』の作田と申します。阪南病院には、昨年8月までの約9年間にわたり勤務させていただきました。阪南病院で学ばせていただいて、今も大事にしていることは「何歳の患者さんでも診ること」です。おかげ様で、2歳から80歳台まで幅広い年齢層の患者さんに、ご来院していただいております。次に、「どんな疾患の患者さんでも診ること」です。おかげ様で、発達障害、うつ病、適応障害、統合失調症だけでなく、精神疾患全般を断らずに診療させていただいております。また、「本人だけでなく、ご家族や支援者を含めてみることも、学ばせていただき大事にしている事の1つです。診察では、子どもやその親御さんなどの支援者も含めて診察室に入ってもらい、治療にみんなで参加してもらっています。時には、親御さんの方にもカルテを作成して家族をまとめて診療したりしています。

目の前にいる患者さん一人一人を大切に、その苦しみを少しでも和らげ健康になってもらえるように、今後も阪南病院で学んだ魂を胸に精進していきます。今後とも皆様よろしく申し上げます。



食器洗浄機の入替工事を行います!

当院ではこの度、業務の効率化及び節水、省エネにも貢献できる、高性能高圧食器洗浄機を導入することにいたしました。つきましては、入替え、設置のための工事を行います。

期間 7月9日(月)朝食より約1ヶ月間
食器 この間は食器洗浄ができませんのでディスプレイ(使い捨てタイプ)の器を利用

写真は患者さん用の食器使用例です。耐熱性で見栄えにも配慮し選んでいます。デイケアのメンバーさんの器もこの間、使捨て食器となります。患者さんのお食事に直接かかわることです。ご理解ご協力の程、お願いいたします。



理容室閉店

理容室閉店のお知らせ

皆様にご利用いただいております理容室ですが、6月末日をもって閉店することとなりました。長年のご愛顧に心より感謝申し上げます。

尚、ご入院中の患者様については、病棟にて従来通り診察させていただきます。

病棟スタッフにご予約をお願いいたします。

ありがとうございました。

阪南病院 理容室

平成12年のA棟改修工事の際に、A棟B棟の間にできた理容室ですが、6月末日をもって閉店いたしました。連の院内工事の関連及び、利用者減もあり今回の決定に至りました。しかし、理容室が閉室しただけで、入院中の患者さんについてはこれまで通り予約の上、病棟で散髪することが可能です。ご理解の程お願いいたします。

外出中に大震災が発生したら

6月の大阪府北部地震、皆さんお怪我はありませんでしたか? 災害はいつ起きるか予想がつかません。外出中に大きな揺れを感じたら...

1 屋外にいる場合

ガラスや瓦など、危険なものが頭上より落ちてくる可能性があります。ブロック塀なども倒壊の危険性があります。出来る限り公園などの広い場所や、耐震性の高い比較的新しい鉄筋コンクリートの建物内に逃げ込みましょう。

2 オフィスにいた場合



オフィスには、キャビネットなど、倒れてきたら大けがをするものがたくさんあります。まずは、机の下などに身を隠し、身の安全を守りましょう。

揺れが収まるまでは、身の安全が確保できる場所で動かない事が大切です。

4 エレベーターに乗っていた場合

エレベーターに乗っている際に揺れを感じたら、全ての階のボタンを押し、エレベーターが止まった階で降りるようにします。閉じ込められたら、焦らず緊急連絡のインターホンで連絡をとりましょう。

3 地下街にいる場合

地下街にいる場合は、壁や柱などに身を寄せて揺れが収まるのを待ちます。地下は、地上と違って閉鎖的な空間なので、人々がパニックを起こしやすい場所。非常口や避難経路に人が溢れることであらたな被害が生まれる可能性もあるので、落ち着いて係員の指示に従いましょう。万が一火災が発生した場合は、姿勢を低くし、口にハンカチなどを当てて床を這うように移動しましょう。



当院は敷地内完全禁煙です

リワークセンター改修工事



手前PCコーナー、中央自習室、その先に面談室とゾーンを分けました

院内の建築工事の一環で、昨年11月よりリワークセンターは旧喫茶店ひだまりを利用し、プログラム実践してまいりました。5月に行われた改修工事では、シンプルな造りの施設内を、目的ごとにゾーニングし間仕切りしました。また間仕切りの開口部分を窓にし、病院玄関側(藤棚側)にも仕切りを作って面談室としました。広さは変わりませんが、仕切りを作ることで、すっきりとした印象になっています。また窓を大きく取ってあるので、圧迫感もありません。旧喫茶店のキッチンだったところはPCコーナー、喫茶スペースを自習室、そしてその先が面談室です。メンバーさんにとって、少しでも過ごしやすい環境にするための改修工事です。

NST
講演会

高齢者の低栄養

～サルコペニアとリハ栄養～

熊本リハビリテーション病院
リハビリテーション科副部長
吉村 芳弘 先生

5/28
(月)

他にも講演会の主催である口清オイリオの栄養食品や熊本リハビリテーション病院で実際に利用されているパワーライス(中鎖脂肪酸強化ライス)の紹介なども行われました。病気の治療と同時に栄養状態の改善を目指す、多職種での関わり及び、栄養食品の使用など、具体的な取組み事例も含め紹介されました。

「サルコペニア」とは加齢や病気による筋量減少により、全身の身体機能や筋力の低下が起こることを指します。あまり聞きなれない言葉かもしれませんが論文として世に出たのは1989年、その後2010年にヨーロッパの研究チームがサルコペニアの診断や定義を提言してから一気に普及した最近の研究及び臨床です。

「体の機能が衰える」「転びやすくなる」「万病のもとになる」「こころを病む」というサルコペニアの弊害を背景に臨床や研究が近年進んでいるということでした。

吉村先生の講義では、聴講型の学習は記憶定着率が低いとして、会場に質問したり、挙手を促したりと参加型で行われ、また「サルコペニア」という言葉はなじみがなくても、低栄養や筋力低下、筋力は30歳前後をピークとして、1年に1%減少するなど、身近に感じられる話題提供がなされたために、とても興味深く聞くことができました。

サルコペニアの原因としては「加齢」「低活動」「低栄養」「病気があげられ、重要な臨床は加齢と言われています。入院されている方は合併症を持っていることもあり、リスクは相当高くなる

とのことでした。高齢者や病後療養中の方には特に注意し、筋力低下を防ぐ対応をしなければならぬとお話になりました。熊本リハビリテーション病院でも吉村先生を中心としたNSTチームがそれぞれの専門性を活かし、サルコペニアの臨床実践をされています。サルコペニアへの対策として、薬剤や栄養と共に、運動(リハビリテーション)を同時に行うなど、複数の治療法の組み合わせが有効であると言われます。日経新聞やNHKでも取り上げられるほど活発な活動です。これら複合的な要素を持ったNSTなどの関わりがリハビリテーション栄養として近年注目されています。

病院機能評価期中の確認(機構からの総括)

昨年11月末に機能評価期中の確認(中間報告)について、機構サーベイヤーから個別のメッセージが届きました。次回の受審に向けての課題もあります。次回受審(2020年)までもう少しありますが、しっかりと課題に向けて改善や取組みなど検討していくことが求められます。(機能評価運営推進会議)

① 概要

前回の訪問審査からすべての項目について見直し、改善が引き続き実施されていることがうかがえる。今後も継続的に医療機能やサービスの質向上を目指して努力され、地域医療の充実に寄与されることを期待したい。
なお、次回審査(3GV2.0)においては、継続的な質改善に重点をおいた評価を行うことが決定しており、早い時期に前回審査から改善が進んだ事項を整理され、次回審査時には積極的にアピールされたい。

② よくできている取組み(抜粋)

- ◆ 地域における教育、啓発活動
- ◆ 院内の療養環境
- ◆ 受動喫煙の防止活動、患者教育
- ◆ 診療計画
- ◆ 薬剤管理
- ◆ 病棟における回診診察、及び他科医師との連携
- ◆ 洗浄滅菌

③ 今後の課題(アドバイス(抜粋))

- ◆ 医師の診療録の質的監査は準備中であるため、今後に期待したい。
- ◆ 文書管理は改定等の履歴管理、また、改定後の作成者から管理者への承認の仕組みがあると更に良い。今後に期待したい。
- ◆ 職員的能力開発について、各職種、もしくは組織全体の院内資格の構築が図れると更に良いと考えるので検討されたい。

7/1
(日) 医局引越し



5月に完成した新A棟への、最後の移動、3F医局と2F更衣室の引越しが行われました。院長はじめ先生方には6月半ばから荷物の整理をしていただきましたが、段ボールの保管場所としていた居室は段ボールの山。当日も50名の席移動に1日がかりの引越しでした。つずつ丁寧に机が運ばれ、設置後はネットワーク業者さんがPCの設置、配線をおこないます。机、そして応接コーナーのソファや冷蔵庫など大きなものを運んだ後に段ボールが新医局へ収まりました。机やストレージに少しでも物が入っていると引越し業者さんは運んでくれません。荷物が少ない先生でも段ボール3つほどになり、50人超となると150個以上(目視ではさらに多いと思いますが)段ボールが運ばれました。院長室も無事に新A棟に移動が完了しています。尚、これで新A棟への引越しはすべて完了しました。院内の再構築、改修工事に向けた動きがさらに進みます。

看護部 インターンシップ

1日就業体験

7/25
(水)

看護の求人活動の一環として、今年度は、看護体験インターンシップを実施しました。7月25日(水)今期最後の会は1名の参加がありました。実際、精神科救急入院科(H3)病棟にて職場体験してもらいました。看護体験はもとより今年の新卒ナースとの交流もあり、精神科志望の学生ではありましたが、より精神科への思いを強くしたようです。また、当院の壁に描かれた絵やアート、緑あふれる庭園なども印象に残ったようでした。
近年、看護学生でも特に大学生はインターンシップが就職先を決める大きな要素になっているようです。当院では病院見学会も実施していますが、自分にあった就職先を決めるために実際に現場へ入って雰囲気を見たいということなのでしょう。(看護部PR会議)

